

# 保健と体育の関連に関する一考察

藪下 耕司（生涯スポーツ学科 学校スポーツコース）

指導教員 中藺 伸二

キーワード：保健と体育 関連性 必要性

## 1. 緒言

私は保健体育という一つの教科に疑問を感じている。その理由としてこのような点である。

- ・ 学習教科と実技教科が同じ教科
- ・ 他の学習教科ではいけないのか
- ・ 保健だけではいけないのか
- ・ 保健体育教員が忙しすぎないか

そこで、本研究では、教師が保健体育をどう考えているのかという実態把握と保健と体育の関連性を知ることがを目的とし、そのことでより高度な保健教育や実技教育につながるのではないかと考える。

## 2. 研究方法

本研究の調査対象は大阪の府立高校の保健体育教師 8 名を調査対象とした。

### 調査方法

無記名、自記式のアンケート調査

### 調査日

2010 年 12 月 22 日

## 3. 結果と考察

○保健のみを教える教師の必要性について

アンケート調査では、保健教育のみを行う教師が必要かなどについて質問した。結果の例としては、表 1 のようになった。

表 1

保健のみを専門的に教える教師が必要だと思いますか？		
YES	2 名	25 %
NO	6 名	75 %

## 4. まとめ

本研究では、保健体育教師の中でも様々な考えがあることがわかった。結果としても、保健と体育の関連性が多いにあるという結果になった。

このように考えたときに、やはり、保健体育という一つの教科としてお互いに高め合える教科であるということが示唆された。

### 参考文献

- 小浜明（2004）体育と保健の統合を目指す．びわこ成蹊スポーツ大学 研究紀要 創刊号．
- 文部科学省（2009）高等学校学習指導要解説 保健体育編・体育編．東山書房．
- 高石昌弘 他（2009）現代保健体育 改訂版．大修館書店．